



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社WOLVES HAND 上場取引所 東
 コード番号 194A URL <http://wolveshand.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 北井 正志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO経営管理本部長 (氏名) 谷内 圭一郎 TEL 06 (6599) 9106
 定時株主総会開催予定日 2024年9月26日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	4,990	7.3	827	3.0	800	0.0	558	10.3
2023年6月期	4,651	8.3	803	11.5	800	12.3	506	59.7

(注) 包括利益 2024年6月期 558百万円 (10.3%) 2023年6月期 506百万円 (59.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	75.20	73.25	30.7	14.3	16.6
2023年6月期	68.17	-	39.9	15.8	17.3

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 △3百万円 2023年6月期 -百万円

- (注) 1. 2023年6月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年6月期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
 2. 2024年6月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2024年6月20日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から当連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	5,784	2,113	36.5	282.80
2023年6月期	5,452	1,519	27.9	204.74

(参考) 自己資本 2024年6月期 2,113百万円 2023年6月期 1,519百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	857	△434	△193	910
2023年6月期	951	△644	△160	681

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年6月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,541	11.0	898	8.6	888	10.9	561	0.6	75.18

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期	7,974,000株	2023年6月期	7,924,000株
----------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年6月期	500,000株	2023年6月期	500,000株
----------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2024年6月期	7,425,502株	2023年6月期	7,424,000株
----------	------------	----------	------------

(注) 1. A種種類株式は剰余金の配当請求及び残余財産の分配請求について普通株式と同等の権利を有しているため、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」及び「期中平均株式数」には、A種種類株式を含めております。

2. 当社は、2024年1月30日開催の取締役会において、A種種類株式のすべてについて、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2024年2月14日付で自己株式として取得し、その対価としてA種種類株式1株につき、普通株式1株を交付しております。なお、当社が取得したA種種類株式のすべてについて、会社法第178条に基づき同日付で消却しております。それに伴い、2024年2月15日開催の臨時株主総会により、2024年2月15日付でA種種類株式に係る定款の定めを廃止しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会経済活動の正常化や、外国人観光客数の急回復に伴うインバウンド需要の高まり、堅調な株式市場等を受けて、国内景気全般に明るい材料が見られた一方、緊迫した国際情勢を受けた経済全般への不透明感や、エネルギー・資源価格の高騰、円安傾向の長期化に起因する国内物価の高騰、国内労働力人口の構造的な減少等、企業を取り巻く外的経営環境の不確実性はますます高まりを見せつつあるものと認識しております。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、昨今のコロナ禍におけるペット用品市場の堅調さや、家計のペット向け支出が拡大傾向にある中、ペットの家族化、高齢化を背景にした世帯あたりの動物病院への支出額の増加傾向の基調に変わりはなく、飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請はますます高まっているものと認識しております。

このような情勢のもと、当社グループは、生き物の命を救い、守り続けることを唯一の目的とする「Animal is my life」を企業理念として掲げ、その具現化の一環として、サステナブルな動物病院経営の実現に向け、獣医師、愛玩動物看護師、トリミングスタッフ等の人材あつてこそその動物病院経営であるというヒューマンビジネスの原点に立ち返り、従業員の満足度を高めるための様々な内的な施策を実施した他、新卒、中堅社員等、それぞれの経歴に応じたOJTの実施による人材教育にも注力し、これらの基本的な施策を通して、もって顧客満足度の向上を企図した取り組みを行いました。

また、九州エリアにおいて、当社グループの強みである通常診療から高度診療まで1社で対応できるシームレス体制を実現すべく、福岡県に高度医療・二次診療に対応した施設を開院いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,990,639千円(前年同期比7.3%増)、営業利益827,469千円(前年同期比3.0%増)、経常利益800,898千円(前年同期比0.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益558,406千円(前年同期比10.3%増)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、動物病院事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は5,784,472千円となり、前連結会計年度末と比べて332,148千円増加いたしました。

流動資産は1,297,246千円となり、前連結会計年度末と比べて257,179千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が220,736千円、売掛金が38,370千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は4,487,225千円となり、前連結会計年度末と比べて74,969千円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物が132,127千円、土地が133,560千円増加した一方、のれんが146,999千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は3,670,842千円となり、前連結会計年度末と比べて261,507千円減少いたしました。

流動負債は1,130,512千円となり、前連結会計年度末と比べて87,531千円減少いたしました。これは主に、未払金が23,306千円増加する一方、短期借入金が50,000千円、未払法人税等が21,641千円、未払消費税等が49,435千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は2,540,329千円となり、前連結会計年度末と比べて173,976千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が164,319千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は2,113,630千円となり、前連結会計年度末と比べて593,656千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資により資本金が17,710千円、資本準備金が17,710千円増加、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が558,406千円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、910,879千円となり、前連結会計年度末と比べて229,314千円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、857,526千円（前連結会計年度は951,319千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益821,550千円、減価償却費175,768千円、のれん償却額146,999千円、法人税等の支払額242,749千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、434,280千円（前連結会計年度は644,294千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出442,781千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、193,932千円（前連結会計年度は160,816千円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出461,494千円、長期借入れによる収入300,000千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

経済情勢に関しては不透明な状況が続くことが予想されますが、動物医療市場については近年堅調に市場規模の拡大を継続しており、ペットのコンパニオンアニマル化に伴い飼い主がペット（犬・猫）にかける1匹当たり年間支出額も増加傾向にあることから市場規模の拡大傾向は今後も継続すると予想しております。

一方で、独立開業している獣医師の高齢化が近年進んでおり、個人診療施設が減少していることから、今後動物病院業界において事業承継のニーズが一層高まり、動物病院の再編が加速すると当社では考えております。

そのような状況下において、当社としては当社グループの動物病院数及び診療エリアの拡大を達成するために、獣医師採用活動の強化を継続して獣医師数の増加を図るとともに、後継者不足や病院経営に悩みを抱えている動物病院に対しての事業承継の受け皿となることで、自社での病院開設及び事業承継・M&Aの両輪で事業規模の積極的な拡大を図っていく予定です。

また、動物病院以外の事業として、当社グループが有する臨床基盤を生かして動物医療にかかる創薬や商品の研究開発活動を強化し、動物医療における臨床以外の新たな収益源の創出を推進してまいります。

以上による取組から、2025年6月期の連結業績予想については、売上高5,541,222千円（前年同期比11.0%増）、営業利益898,327千円（前年同期比8.6%増）、経常利益888,552千円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益561,913千円（前年同期比0.6%増）を見込んでおります。なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	690,142	910,879
売掛金	198,677	237,048
商品	84,884	75,814
その他	67,489	75,286
貸倒引当金	△1,127	△1,782
流動資産合計	1,040,067	1,297,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	729,679	861,806
工具、器具及び備品(純額)	202,606	216,087
土地	1,490,848	1,624,408
リース資産(純額)	18,744	10,656
その他(純額)	1,905	1,810
有形固定資産合計	2,443,784	2,714,770
無形固定資産		
のれん	1,618,067	1,471,068
ソフトウェア仮勘定	90,035	93,005
その他	5,891	5,743
無形固定資産合計	1,713,993	1,569,817
投資その他の資産		
関係会社株式	25,612	27,651
長期前払費用	45,144	40,077
差入保証金	59,128	54,862
繰延税金資産	119,300	80,043
その他	5,291	2
投資その他の資産合計	254,477	202,637
固定資産合計	4,412,256	4,487,225
資産合計	5,452,324	5,784,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,712	88,590
短期借入金	150,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	454,909	457,734
リース債務	14,232	13,401
契約負債	7,507	17,733
未払金	224,061	247,367
未払法人税等	149,192	127,551
未払消費税等	98,953	49,517
賞与引当金	16,863	—
その他	19,612	28,616
流動負債合計	1,218,044	1,130,512
固定負債		
長期借入金	2,587,666	2,423,347
リース債務	20,502	7,576
資産除去債務	99,391	98,878
繰延税金負債	2,289	3,488
その他	4,456	7,038
固定負債合計	2,714,306	2,540,329
負債合計	3,932,350	3,670,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	107,710
資本剰余金	2,561,287	2,578,997
利益剰余金	△881,484	△323,077
自己株式	△250,000	△250,000
株主資本合計	1,519,803	2,113,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170	—
その他の包括利益累計額合計	170	—
純資産合計	1,519,974	2,113,630
負債純資産合計	5,452,324	5,784,472

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,651,067	4,990,639
売上原価	3,365,468	3,617,213
売上総利益	1,285,599	1,373,425
販売費及び一般管理費	482,286	545,956
営業利益	803,312	827,469
営業外収益		
受取販売奨励金	10,934	15,007
保険戻戻金	—	3,187
その他	6,475	5,475
営業外収益合計	17,410	23,670
営業外費用		
支払利息	15,155	15,703
資金調達費用	4,149	4,654
上場関連費用	—	24,245
持分法による投資損失	—	3,651
その他	536	1,985
営業外費用合計	19,841	50,241
経常利益	800,881	800,898
特別利益		
固定資産売却益	603	—
受取補償金	—	22,447
特別利益合計	603	22,447
特別損失		
固定資産除却損	3,207	1,508
減損損失	—	286
特別損失合計	3,207	1,794
税金等調整前当期純利益	798,276	821,550
法人税、住民税及び事業税	235,868	222,600
法人税等調整額	56,282	40,543
法人税等合計	292,151	263,143
当期純利益	506,125	558,406
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	506,125	558,406

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	506,125	558,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	△170
その他の包括利益合計	170	△170
包括利益	506,296	558,236
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	506,296	558,236

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	2,561,287	△1,387,609	△250,000	1,013,678
当期変動額					
新株の発行					—
親会社株主に帰属する当期純利益			506,125		506,125
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	506,125	—	506,125
当期末残高	90,000	2,561,287	△881,484	△250,000	1,519,803

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	—	—	1,013,678
当期変動額			
新株の発行			—
親会社株主に帰属する当期純利益			506,125
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	170	170	170
当期変動額合計	170	170	506,296
当期末残高	170	170	1,519,974

当連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	2,561,287	△881,484	△250,000	1,519,803
当期変動額					
新株の発行	17,710	17,710			35,420
親会社株主に帰属する当期純利益			558,406		558,406
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	17,710	17,710	558,406	—	593,826
当期末残高	107,710	2,578,997	△323,077	△250,000	2,113,630

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	170	170	1,519,974
当期変動額			
新株の発行			35,420
親会社株主に帰属する当期純利益			558,406
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△170	△170	△170
当期変動額合計	△170	△170	593,656
当期末残高	—	—	2,113,630

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	798,276	821,550
減価償却費	173,777	175,768
のれん償却額	141,970	146,999
減損損失	—	286
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,863	△16,863
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△8,000	—
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△26,000	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△128	634
受取利息及び受取配当金	△8	△7
支払利息	15,155	15,703
持分法による投資損益 (△は益)	—	3,651
固定資産除却損	3,207	1,508
固定資産売却損益 (△は益)	△603	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,041	△38,370
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,433	9,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,806	5,878
未払消費税等の増減額 (△は減少)	74,982	△49,435
その他	△40,477	39,530
小計	1,113,347	1,115,905
利息及び配当金の受取額	8	7
利息の支払額	△15,472	△15,636
法人税等の支払額	△146,563	△242,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	951,319	857,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△25,612	△5,000
有形固定資産の取得による支出	△432,501	△442,781
無形固定資産の取得による支出	△60,232	△2,844
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△115,272	—
その他	△10,675	16,346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△644,294	△434,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	48,074	△50,000
長期借入れによる収入	250,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△433,782	△461,494
リース債務の返済による支出	△16,043	△13,757
株式の発行による収入	—	35,420
その他	△9,065	△4,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,816	△193,932
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	146,208	229,314
現金及び現金同等物の期首残高	535,357	681,565
現金及び現金同等物の期末残高	681,565	910,879

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、動物病院事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	204円74銭	282円80銭
1株当たり当期純利益	68円17銭	75円20銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	73円25銭

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は、2024年6月20日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、新規上場日から当連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	506,125	558,406
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	506,125	558,406
期中平均株式数(株) (うち普通株式)	7,424,000 (6,488,000)	7,425,502 (6,839,862)
(うちA種種類株式)※	(936,000)	(585,640)
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	198,195
(うち新株予約権(株))	—	198,195
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類 新株予約権の数 4,310個	—

※当社の発行しているA種種類株式は剰余金の配当請求及び残余財産の分配請求について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2024年8月8日開催の取締役会において、株式会社そよかぜの株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社そよかぜ

事業の内容：動物病院運営

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社そよかぜ（以下、「そよかぜ」）は埼玉県さいたま市与野エリアで「そよかぜ動物病院」のブランドで動物病院を3病院（与野駅前院、南与野院、北与野院）運営しております。そよかぜは各獣医師が得意分野を有し幅広い診療と専門的で高度な診療が可能な体制を構築しており、年間の手術件数は700件を超える実績を有するとともに、さいたま市与野エリアにてドミナント戦略で出店を集中させることで、当エリアにおいて競合他社が容易に参入できない確固たるブランドを確立しております。

当社は関西・関東・九州・沖縄エリアにて動物病院を運営しており、今後の出店エリアを拡大していく上で、埼玉県に強い基盤を有するそよかぜが当社グループに参入することで、北関東エリアへの出店の拡大や関東エリアの当社運営病院との連携により当社グループの更なる発展が見込めると判断し、株式取得を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2024年8月8日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

相手方からの要請により非開示とさせていただきますが、適切なデューデリジェンスを実施の上、公正妥当と考えられる金額にて取得を予定しております。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

相手方からの要請により非開示とさせていただきます。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。